

クイックスタートガイド

毎日聖文研究をする目標



今年から何が変わるでしょうか

2021年1月1日から、コース履修の認定を受けることを望む生徒はその年に学ぶ聖典を、セミナー期間中の少なくとも75%に当たる日数読む必要があります『方針と手続き』の「コースの修了と卒業のために求められる聖典の読書課題」参照)。教師は、生徒に毎日聖文研究をする目標を立て守るよう励ますことで、上記の事柄を達成できるように助けることができます。



毎日聖文研究をすることの大切さ

ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように教えています。「イエス・キリストの弟子となるよう努めるとき、主の声を聞くことができるように、これまで以上に意識的に努力する必要があります。日々の生活を主の言葉と教えと真理で満たすために、意識して絶えず努力することが必要です。…毎日神の言葉に浸ることが、この増大する混乱の日々に、特に靈的に生き延びるためにきわめて重要です。わたしたちが毎日キリストの言葉をよく味わうとき、キリストの言葉は、自分が直面するとは思ひもしなかった困難に対処する方法をわたしたちに告げます。」（「彼に聞きなさい」『リアホナ』2020年月5号, 89-90）



生徒をどのように助けることができるでしょうか

教師は、各授業の中で聖文を用いた意義深い学習体験を創り出すことで、生徒を助けることができます。教師は、各単元の初めに、聖文を研究することの大切さや、救い主イエス・キリストに自分を近づけてくれる聖文の力について話し合う時間を、生徒たちのために割いてください。毎日聖典学習をするための自分の目標を立てるように、生徒を励ます必要があります。

生徒が自分で立てた毎日聖文研究をする目標を達成できるように助けるうえで、教師は重要な役割を果たします。教師がその役割を果たす方法はいくつもあります。例えば…

- 聖文と近代の預言者たちの教えを用いて、自分が弟子として成長し、イエス・キリストに対する改宗を深めるのに、毎日聖文を研究することが、いかに重要であるか理解できるように助ける。
- 毎日聖文研究をする目標が、適切で意義のある、また自分の必要や能力にあった、目標となるように生徒を助ける。
- 生徒を知り、彼らの聖文研究を定期的にフォローアップする。
- クラスの中で、自分の聖文研究を通して学んだことやイエス・キリストとその福音について感じていることを、生徒が証する機会を定期的に設ける。
- アプリのmySeminaryアプリやその他の記録手段を使って生徒が日々の聖文研究状況を確認する機会をクラスで設け、絶えず生徒に責任を持たせるように助ける。
- 生徒の聖典読書課題が75パーセントラインを下回ったら、補完できるように励ますことで、生徒を助ける。



教師が活用できる資料

- すべての教師は、現場でのレッスンや毎月の話し合いの場で、自分の現職指導者から訓練を受けるべきです。地元でのこの訓練に変更を加えるには、地域ディレクターと相談して行ってください。
- mySeminaryアプリには、生徒が毎日の聖典読書を記録し、追跡するのに助けるための提案があります。これは<https://web.microsoftstream.com/channel/8600711f-29ec-40c8-99d2-c1240a7204ec>で見ることができます。
- mySeminaryアプリが使えない地域では、地元で工夫してください。
- 聖典の読書課題が75パーセントに達しない生徒を助けるには、『方針と手続き』の「補習」にある原則に従ってください。聖典の読書課題を埋め合わせるための事例は上記の現職用オンラインで見ることができます。

